

## 130206 コサギ

全身が白い羽毛のサギ類のことを「シラサギ」と呼んでいますが、実は「シラサギ」という名前の鳥はいません。

比較的身近な「シラサギ」は、その大きさの違いから「ダイサギ」、「チュウサギ」、「コサギ」というように、もの凄く安易に、でもわかりやすく命名されているのです。

おおよその大きさは、順に 90 cm、70 cm、60 cm くらいですが、「チュウサギ」は夏場しか見ることのできない「夏鳥」である上に、環境省カテゴリでも「準絶滅危惧種」に分類されるほど数を減らしていますので、我々が日常目にするのできる「シラサギ」は、「ダイサギ」と「コサギ」がほとんどだと思います。

この 2 種類ですと、明らかに大きさに差がありますので、見分けることは比較的容易です。

いずれの種も警戒心が強く、なかなか近距離での観察は難しいのですが、今回は偶然、「コサギ」に接近、そして撮影することに成功したのです！

さて、この「コサギ」、長い左右の脚を交互に持ち上げるようにしながら、浅い水辺をゆっくりと歩いている姿をよく見かけます。

その脚の半ばで折れ曲がる部分は「膝」なのだろうと思っていましたが、実際は人間の体で言うと「かかと」に相当するのだそうです。

つまり、長いのは「脚」と言うよりも「かかとから爪先」ということになるようです。

体長は約 60 cm と「シラサギ」の仲間では最小なのですが、他の水鳥と比べると結構大柄な方ですね。

川の浅瀬や水田を歩いて、ドジョウやフナ、カエル、アメリカザリガニなどを嘴(くちばし)で巧みにはさみ取って食べるようですが、じっくり観察していると、彼ら、非常におもしろい捕獲方法を採用していました。

何と水中の脚をブルブル震わせて(パドリング)、その震動に驚いて飛び出してきたドジョウや小魚などを素速く捕らえていたのです！

### 写真 ・ : コサギ

「脚ブルブル漁法」？ 真っ最中のコサギです。  
水面に広がる「波紋」がその証拠ですね。

### 写真 : ダイサギ

日本で見るのできるサギ類では最大の「アオサギ」と比べても、ほとんど引けを取らない大きさです。









